

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地理歴史	N 日 本 史	4	3	文系GA	1～3

教科書	詳説 日本史探究 (山川出版社)	副教材	新詳日本史 (浜島書店)
			時代と流れで覚える！日本史用語 (文英堂)

科目の目標	<p>1. 我が国の歴史の展開を、地理や世界史と関連付けて学び、歴史的探究心を養う。</p> <p>2. 各時代の特色を総合的に考察するとともに、前後の時代の比較を通してその変遷を考察する。</p> <p>3. 国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>
-------	---

科目の概要	<p>日本史における、特に近世史を扱う。前近代の日本史を学び、日本の国家体制がどのように構築されていったのかを考察する。さらに、東アジアやヨーロッパの国々との交流から日本が受けた影響を学び、それが政治・経済・社会・文化などにどのような影響をもたらしたかを理解する。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、 ④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、 ⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第8章 近世の幕開け 1. 織豊政権 2. 桃山文化 第9章 幕藩体制の成立と展開 1. 幕藩体制の成立 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	豊臣秀吉の天下統一や朝鮮侵略の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。また、新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。さらに、江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解し、幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。
	第9章 幕藩体制の成立と展開 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化 第10章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 3. 幕府の衰退と近代への道 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。また、17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 さらに、農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察したり、幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解したりする。
2 学 期	第10章 幕藩体制の動揺 2. 宝暦・天明期の文化 4. 化政文化 第11章 近世から近代へ 1. 開国と幕末の動乱 2. 幕府の滅亡と新政府の発足 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	江戸時代の中期から後期にかけての文化として、新たなかたちで展開する文化を社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連付けて考察したり、江戸と地方の文化的交流について考察したりする。また、国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。
	第16章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1. 55年体制 2. 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道 2. 冷戦の終結と日本社会の変容 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう諸改革について、その経過と内容を理解したり、東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考えたりする。また、独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。